



進路だより



茨城県立大子特別支援学校
働きがい推進部
令和8年 月 日
【 No. 4 】

新しい年が始まりました。本年もどうぞよろしくお願いたします。

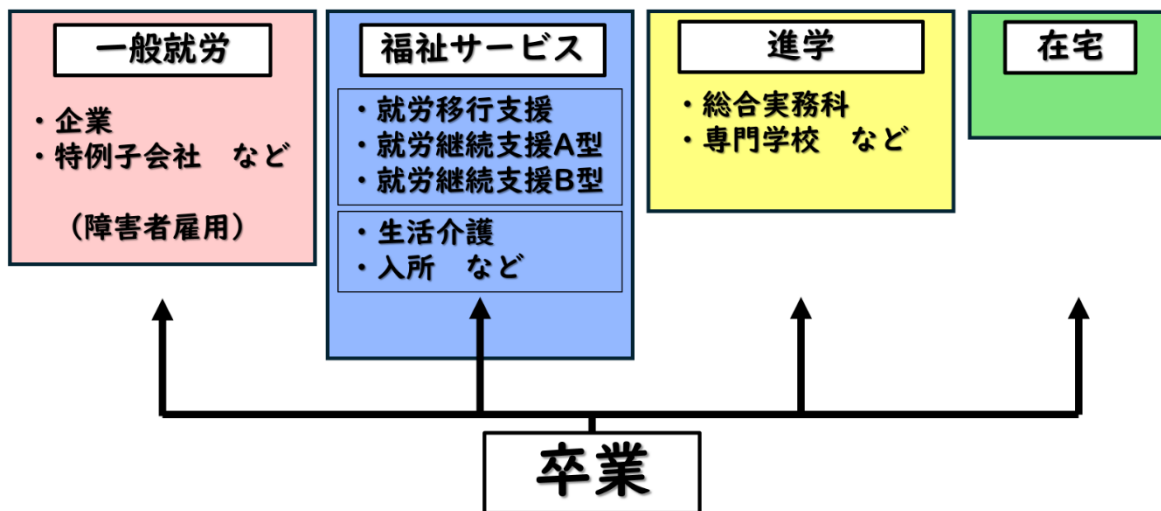
本校では12月、中学部の保護者を対象に**進路懇談会**を実施しました。限られた時間の中ではありましたが、本校や高等部、さらに高等部卒業後の進路へ向けて、中学部段階までに行ける準備はなんだろう？ということ保護者の皆様と一緒に考える機会となりました。

今回は、進路懇談会でのテーマとなった、【高等部、高等部卒業後の進路に向けて】、【高等部卒業後の進路先や進路状況】、【社会的自立に向けて】についてお伝えします。

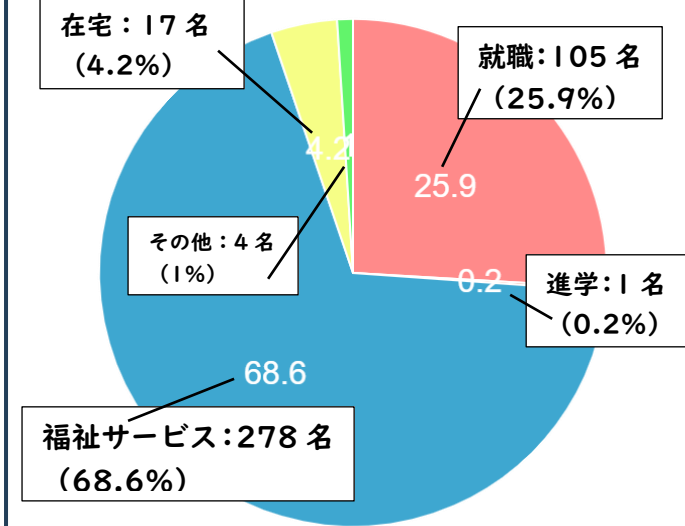


高等部卒業後のこと

特別支援学校 卒業生の 主な進路先 (高等部)



令和6年度県内高等部進路状況 知的障害 (405名)



特別支援学校卒業後の主な進路先と進路状況です。最も多いのは【福祉サービス利用】です。本校は県内でも数少ない、高等部がない特別支援学校です。高等部以降のイメージがなかなかつきづらいところもあるかもしれませんが、今のうちから、利用している福祉サービスでの今後を考えてみたり、将来的に利用を考えている福祉サービスへの見学・体験等に足を運び、実際に見てみたりすることも大切です。



令和6年度の県内特別支援学校高等部卒業生に関する進路情報が1冊の冊子にまとめられ、各校のホームページからご覧いただけます。

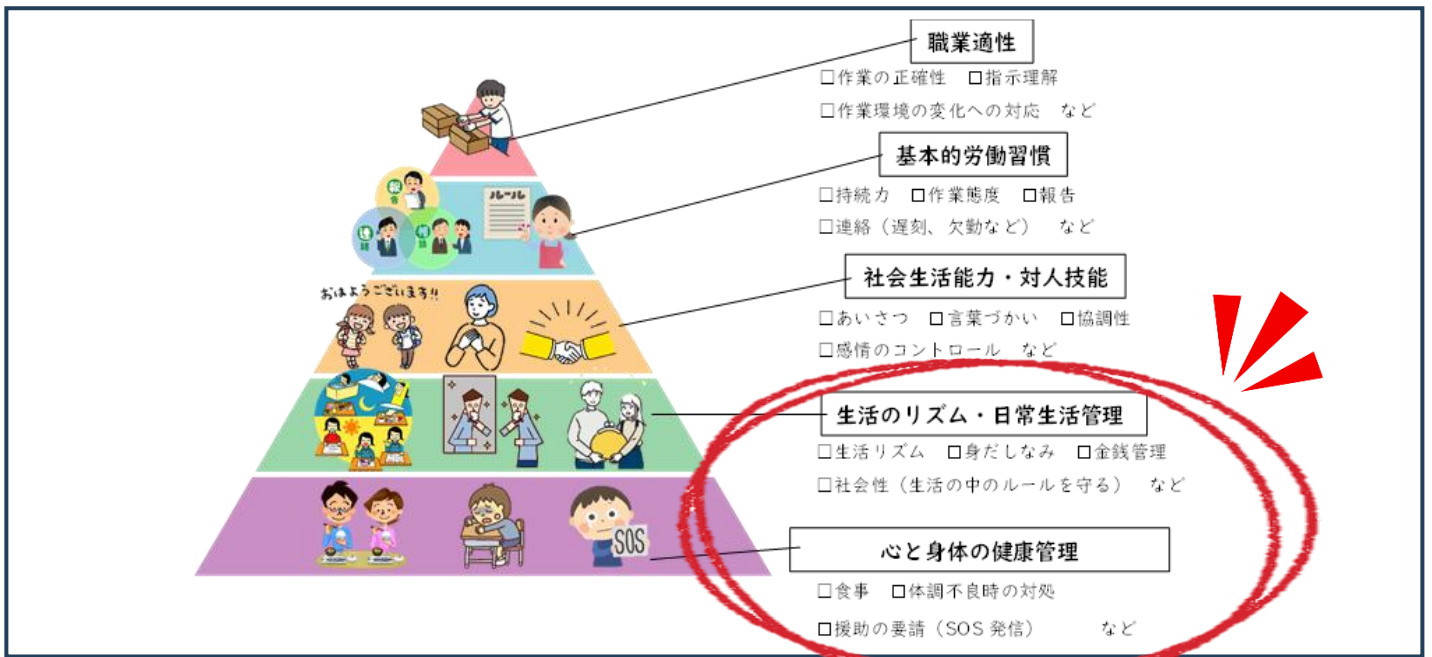
参考：令和6年度 卒業生の進路に関する報告
(茨城県特別支援学校進路主事等研究協議会)



社会的自立に向けて… 今日から家庭と学校で できること

大切なのは… **「土台」** の力！！

参考：厚生労働省 就労準備性ピラミッド
高齢・障害・求職者雇用支援機構 職業準備性ピラミッド



元気にあいさつ・返事をする
コミュニケーションの基本です。

時間を守り、身なりを整える
社会人としてのマナーです。

「わからない」「手伝って」を言う練習
自分を守る大切なスキルです。

自分の「好き」をたくさん見つける
将来の仕事の種になります。



進路懇談会を終えて… 保護者の方の声

中学部での進路の話という「高等部」のことだけと思っていたが、その先の話が聞けてよかった。

あやふやだった施設や福祉サービスについて知ることができた。移行支援には期限があることも知れてよかった。

中学部・高等部のうちから就労継続支援施設で行うような作業を練習させてくれる施設やサービスはある？

子どもとも色々話をしたりやりたいこと、やりたくないこと本人の希望を聞けたらと思う。

就労準備に向けてお金の管理・交通機関の使い方などを少しずつ練習しようと思う。

早めに見学に行き、本人に合う場所を見つけられればと思う。

移動手段として、「車の免許」という話があったが、知的障害のある子ども、免許取得は可能なのか？

